

福島市教育振興基本計画から

- 多様性を認め共に生きる心の育成
- 学校における読書活動の充実
- 意欲的に取り組み、知識・技能を確実に身に付ける子どもの育成
- 一人一人の教育的ニーズに応える特別支援教育の推進
- ICTの活用、プログラミング教育の推進

地域・学校の特徴

- 学校は、多くの公共施設、商店等がある市街地に立地している。
- 学区は、市のシンボル信夫山の南側に接している。
- 学区内の県立聴覚・視覚支援学校との異校種交流が40年以上続いている。
- 通級教室を8教室設置し、本市就学指導・特別支援教育の一役を担っている。

教育目標

「やさしく
かしこく
たくましい子ども」

めざす子ども像

思いやりのある子ども
すすんで勉強する子ども
元気でたくましい子ども

特に育成したい力

「主体性」
「協働的に学びに向かう力」
「自分も他人も大切にする心」
「自己マネジメント力」

めざす学校像

- 一人一人に予測できない未来を生き抜く力（知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性）を育む学校
- 安全・安心な生活環境の中で健やかでたくましい体づくりに取り組む学校
- 保護者・地域とともに子どもの成長を支え、促す学校
- 自ら研修し、温かさ・厳しさのある職員集団が営む学校

めざす教師像

- 目の前の子どもの力は伸ばせると信じ、日々研修に努める教師
- 子ども一人一人のよさを認め、声を聴き、寄り添える教師
- チーム梅校の一員として同僚と協力する教師

子どもの学びの質を高める授業づくり～探究的な学びの推進～

1 主体的な学びによる学力の向上

- 自由進度学習をはじめ、単元のゴールを明確に設定し、ゴールに向けて自己選択・自己決定する過程を大切にします。
- 教科・領域に応じた個別最適な学びを推進して、主体的に学ぶ意欲を高めます。
- 生活科・総合的な学習の時間を中心に、探究的な見方・考え方を働かせて課題を解決する力を育てます。

2 協働的な学びの推進

- 多様な他者と共に学び合う協働的な学びを推進し、思考力・判断力・表現力を育成します。
- 学びに対する目的意識を明確にもたせ、自分の考えを表現する機会を設定します。

3 自己マネジメント力の育成

- 学習計画の作成と取り組み方についてのふり返りを常に意識させることで、自己調整力を育成します。
- よい取り組みを称賛し、広げることで、自分や友達の良さを学びに生かすことができるようにします。

★ 上記を支える基盤となる学習指導

- 相手意識をもった話し方・話の聞き方など、学びの基礎となる学習規律を指導し、学ぶ構えを育てます。
- 豊かな言語活動を支える読書活動を推進します。



あいさつと笑顔広がる
やさしさいっぱい梅校

あいさつと言葉がつながるまじづくり

～自分も大事 みんなも大事～

1 自他を大切に子ども育成

- 自分のよさを知り、そのよさを生かして主体的に行動しようとする態度を育成します。
- 心のこもったあいさつや、はっきりとした返事、感謝の言葉など、相手と良好に関わることができるよう指導に努めます。
- 道徳の授業をはじめ教育活動全体を通して、人間関係・社会形成能力の育成に努めます。

2 他者をつなぐ特別活動及び交流活動の充実

- 学級活動・係活動・児童会活動を工夫・充実させ、友達と協力しながら自分たちの思いが実現する経験を積ませます。
- 多様性を認め、相手を尊重して、進んで行動できることをめざす交流活動を推進します。

健康でたくましい心と体づくり

～もっと知ろう 私の well being～

1 健康な生活を送るための心と体づくり

- 児童の健康を守る望ましい食習慣の育成に向けて、発達段階に応じた食育の充実を図ります。
- 心と体の健康を保つために学校と家庭、専門家との連携を図ります。

2 運動の日常化を充実させる場の設定

- 体育の授業をはじめ、梅校タイム等を活用して体力の向上を図ります。
- 6年間の積み重ねが見える各種運動カードを有効活用して自分の目標を設定し、運動の習慣化を目指します。

3 安全教育の充実

- 自分の命を守るための安全な行動ができるようにする指導を工夫します。
- 交通安全・防災・食・放射線に関する指導の充実にも努めます。